

71 安全管理

市街地の舗装工事における 地元とのコミュニケーション

宮崎県土木施工管理技士会
旭建設株式会社
岡田 久美子

1. はじめに

本工事は、宮崎県内の主要道路である10号線において、アスファルト舗装を切削オーバーレイにより修繕する工事である。施工箇所は複数箇所にて点在するが、いずれも交通量の多い箇所であることから夜間施工である。

施工は片側交互交通規制を行いながら、1車線毎に切削からオーバーレイを一日で行う計画である。

工事概要

- (1) 工事名：平成30年度延岡管内舗装修繕工事
- (2) 発注者：延岡河川工事事務所
- (3) 工事場所：延岡河川国道事務所管内
- (4) 工期：2019年4月1日～2019年12月25日
- (5) 主な工事内容：切削オーバーレイ

2. 現場における問題点

舗装工事では車両の通行ができない時間帯が発生する。施工範囲内には市道との交差点、店舗等の乗り入れ口が多く、交差点の利用や店舗への乗り入れができないことについて、地元住民や店舗経営者への事前説明と対応が必要である。

① 住民への対応

工事内容と交通規制の内容、通行出来ない日が発生することを記載した工事ちらしを作成し、まずは地元の代表者への説明と挨拶に伺った。その際、交差点の利用状況やどの範囲まで周知して

おくべきか等の助言を頂いた。

施工箇所に近いアパートや民家へは事前に戸別訪問し、工事内容と車両の通行出来ない日があること、夜間に騒音や振動が発生する恐れがあること等を伝え、理解を得た。

② 夜間営業の飲食店への対応

個別に訪問し、工事の内容や目的、店舗の乗入れ口を施工する場合、店舗への出入りができない時間帯が発生すること等を説明し、工事への理解と協力を求めた。

その上で、飲食店の定休日や閉店時間などをヒアリングし、可能な範囲で施工日を定休日に合わせる提案や店の乗入れ口の舗設時間が閉店後になるよう施工順番を検討する事を提案し、理解を得た。



図-1 店舗への聞き取りと施工日

③ 24時間営業店舗への対応

こちらも深夜営業の飲食店同様に、施工予定の

1ヶ月以上前に個別に訪問し、工事の内容や目的、店舗への車両の出入りができない時間帯が発生すること等を説明した。

24時間営業の店舗については、閉店後や定休日等がないため、どうしても店舗への出入りができない時間帯が発生する。また大型の舗装機械があることで、まだ通行出来る時間帯であっても店舗への出入り口ができなと思われたり、出入り口が利用者に分かりにくかったりする恐れがある。そこで、通行車線側に店名等を示した看板を設置し、誘導員を配置した。



図-2 店舗の出入口看板と誘導員

時間帯によっては、切削後の路面を横断して店舗への出入りを行ってもらう事があったが、その際には舗装の段差部に擦付け用のゴムマットを設置し、乗り入れる際の段差による衝撃を少しでも和らげるよう配慮した。

④ 大型車の通行

運送会社からの大型車の出入りが終日行われる交差点が1箇所あった。迂回路が設定できないため、運送会社の配車担当部署と連絡調整と打合せを行い、大型車の通行のない数時間を狙って交差点内の舗設→転圧を行えるよう施工順番を計画した。

計画通りの時刻までに転圧を終え、大型車の通行を行う事ができたが、念のため防災シートを交差点に広げ、その上を通行してもらった。



図-3 防災シートによる養生

3. 工夫・改善点と適用結果

事前の工事のお知らせとお願いは当然であるが、利用状況や営業状況に合わせ、店舗への出入りや大型車運行への影響が少なくなるような工程が組めないか検討し、提案を行った。

4. おわりに

交差点や店舗乗入れ口の多い区間の夜間舗装工事において、事前の挨拶と工程の打合せを密に行うことで、工事への理解と協力を頂き、苦情や事故無く工事を終えることができた。

今回の工事では、現場代理人、監理技術者とは別に2名の若手女性担当技術者の計4名が配属されており、それぞれが決められた役割を行う事で、きめ細かい対応を行う事ができた。地元代表への挨拶やチラシの配布では、担当技術者が担当することで、一般の方に近い視点で分かりやすい工事説明を行うことができた。

工事終了後にはある店舗の経営者より「(工事をしたことで)おかげで大型車両通行時の騒音・振動が随分と軽減された。」とのありがたい言葉を直接聞くことができた。

これも良好な関係を気づいていたからこそできた事ではないかと感じる。

最後に、この工事の施工に当たってご指導頂いた発注者の方々、ご協力頂いた地元住民や店舗・事業所関係者並びに協力業者の方々に厚く感謝しお礼を申し上げます。